

衆議院議員 

伊藤

しゅんすけ 45歳

変えよう

日本を新しい時代へ

企業・団体献金
受け取らず活動中
NO!

黙って
は
変わ
ら
ない

町田生まれ
町田育ち

伊藤しゅんすけ プロフィール

- 1979年8月5日 町田市生まれ 町田市在住
- 富士幼稚園 卒園
- 桐蔭学園小・中・高・大 卒業
- 北京大学 留学
- 中央大学経済学部国際経済学科 卒業
- 会社経営 元役員
- 第46回・第47回衆議院議員選挙 次点
- 第48回衆議院議員選挙76,450票 初当選
- 第49回衆議院議員選挙126,732票2期目当選
- 立憲民主党副幹事長
- 立憲民主党青年局長
- 都連選対委員長
- 議院運営委員会
- 情報監視審査会

伊藤しゅんすけ
公式HPはこちら



国政に送って頂き2期7年、私は海外留学や起業経営等の経験から、日本が衰退していく危機感を強く感じてきました。平等公平でない税制や、人口が増え続ける高度経済成長時代に作られた時代遅れの制度や感覚、経済成長出来ずに上がらない賃金、非正規雇用や貯蓄ゼロ世帯、過労死や自殺者も依然多く、不安定化する国際情勢への対応など、間違った政策と多くの課題が、先送りされています。

そんな中で、私が国会で直面したのは、公文書の破棄改ざんや隠ぺい、黒塗りの資料に虚偽答弁。直近5年間で自民党の現職国会議員13人も逮捕起訴され、さらには裏金・脱税。国民から政治が信頼されるはずがない。

なぜ真面目に働いても所得・賃金が上がらないのか。なぜ生活が苦しいのか。長きに渡り「利権・既得権・金権・裏金・派閥」など中心の国民生活を見ていない「古い政治」が国民の豊かさを奪ってきた大きな原因です。自民一強の限界。時の総理が何人代わりともこの体質は変わらない。今こそ、「古い政治」に終止符をうち、国民生活に寄り添い、人と地域と環境を大事にし、可処分所得をあげ、分厚い中間層を必ず取り戻したい。



変えよう

日本を新しい時代へ

Change!

1 政治改革。自民党のウミを出し切る。

金権・裏金・脱税を許さない政治資金規正法の再改正。企業団体献金禁止。政策活動費の廃止。収支報告書のデジタル化。クォータ制で女性議員増。インターネット投票の導入。

2 分厚い中間層の復活。税制改正。

消費税還付法案導入で中低所得者世帯等が負担する消費税の半額（消費税5%）相当を、物価高対策と逆進性の緩和のため控除と給付を併用し還付する「給付付き税額控除」を導入。消費税減税とインボイス制度廃止。可処分所得の向上。最低賃金1500円に引上げ。介護士・保育士・福祉従事者等の待遇改善。成長分野への投資。

3 徹底した若者支援。少子化対策。教育・子育て・社保制度の充実。

教育と給食費の無償化。国公立大学の授業料無償化と私立大学や専門も同額程度負担軽減。奨学金減免・給付型拡充と住宅費補助。児童手当所得制限撤廃し第1子から増額し高3まで月15,000円支給。非正規から安定雇用へ。不妊治療や出産費用、無痛分娩補助拡大。育児休業賃金100%支給。選択的夫婦別姓導入。ヤングケアラー支援。年金制度改革。ベーシックサービス充実。予防医療。孤独孤立対策。

4 原発に依存しない日本へ。

2030年再エネ50%LNG火力50%省エネ30%以上でCO2排出60%削減目標。再エネ政策の確立と促進、省エネ化で原発に依存しない社会を中長期的な視点で実現し、新たな産業等で雇用を創出し次世代に繋ぐ。気候変動対策、災害対策と復旧復興対策を。

5 専守防衛を貫く。現実的な外交安全保障。

かつての自民党にはタカ派とハト派がいてバランスをとってきましたが、いまやタカ派ばかりになり、立憲民主党が間違った紛争や戦争に関わらないように歯止めをかける最後の砦。安全保障環境や技術や戦術等も大きく変化する中で、リスクやファクトに基づき、憲法9条をいかに、立憲主義と専守防衛を守りながら現実的な対応を。サイバーセキュリティ強化。日米地位協定見直し。

伊藤しゅんすけの地元政策

- 大学病院並みの医療体制を。町田市には救命救急（大学）病院が1つありません。脳や心臓など搬送される初動3、40分が命取りです。
- 2027年に鶴川駅北口ターミナルと南北自由通路、橋上駅の完成、南口ターミナル運用開始、2024年鶴川1号踏切拡幅完了、駅周辺渋滞解消と急行停車駅へ。
- 小田急線小山田への延伸と小山田駅の早期実現、魅力ある北部丘陵構想、1000万人が訪れる北部丘陵里山自然公園を。
- 南町田をはじめとして待機児童ゼロ。
- 相原地区における交通空白地域の解消、八王子医療センターへのバス交通の実現。相原駅前横浜線アンダーパスの実現で渋滞緩和。
- 団地問題（家賃、バリアフリー、EV設置、空室、建替、商店街活性化）。低所得者向け住宅の拡充。鶴川団地の建て替え事業。
- 教育や給食無償化。更なる少人数学級へ。妊娠、出産、不妊治療などの支援拡充。
- 児童相談所早期設置実現。バリアフリー、ホームドア設置早期実現。
- 中心市街地活性化と地域経済雇用支援。まちづくりの中でドッグランの設置を。

伊藤しゅんすけ事務所

国会事務所

〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2-1122
TEL 03-3508-7150 FAX 03-3508-3640

町田事務所

〒194-0021 町田市中町2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935